

監修の序

医学の急速な進歩、そして社会の高齢化を背景に、医療のニーズはますます高まり、そしてさまざまな職種の医療者が必要とされ、幅広い職場で活躍しています。医療は人の健康と生命を守る大切でやりがいのある仕事ですが、どのような医療職になるにしても、解剖学と生理学を通して人体の構造と機能を学ぶことは基本中の基本です。そして医療者になるための教育・学習のなかで、最も悩ましいのがこの解剖学と生理学かも知れません。

医療職に必要とされる解剖学・生理学の知識は、職種によってそれぞれ違っています。医師はすべてにわたってオールラウンドの知識が必要となります、看護師ではフィジカル・アセスメントや身体の生命機能に関わることを深く学ぶでしょうし、理学療法と作業療法では上肢や下肢といった運動器や神経系について深い知識が求められるでしょう。

それぞれの医療職のために特化した解剖学・生理学の教科書を書くということは、意外と難しいことです。医師や医学の研究者は、解剖学・生理学の知識を十分にもっていても、それぞれの医療職の仕事を深く理解しているわけではありません。またそれぞれの医療職の人たちは、臨床的な仕事がよくわかっていても、解剖学・生理学の知識が必ずしも十分とは言えないからです。

本書『PT・OT ビジュアルテキスト専門基礎 解剖学』は、そういう悩みを吹き飛ばしてくれる教科書で、理学療法と作業療法の学生にとって大きな福音となることでしょう。著者の町田志樹先生は、もちろん理学療法士であり、理学療法の学校で多くの学生を教えているばかりの教員であり、さらに順天堂大学の解剖学教室で肉眼的な解剖学の研究を行ってきました。こうした経験をもとに「いまさら聞けない解剖学」というテーマの講習会を立ち上げ、これまで数多くの人たちに解剖学を楽しく学ぶノウハウを伝えてきて、町田先生の解剖学の教科書が出版されるのを待ち望んでいる人も数多くいることでしょう。

著者には解剖学の教科書を初めて書くということに心配や戸惑いもあったのかも知れません。これまで数多くの解剖学書の翻訳や著述を手がけてきた私が、監修を依頼されてお引き受けすることにしました。とはいっても私はできあがった原稿について助言をしたに留まり、本書は最初から最後まで町田先生が独自のアイデアで書き上げたものであることは、言うまでもありません。今回の第2版は、令和6年版の理学療法士作業療法士国家試験出題基準にあわせたもので、各章末に国試練習問題を追加するなど、学生の役に立つ教科書として、さらに磨きがかかっています。

2023年10月

坂井建雄